

令和3年4月13日

甲斐市議会議長 山本 英俊 殿

甲斐市民クラブ 会派代表 斎藤 芳夫

颯新クラブ 会派代表 有泉庸一郎

視察研修(2会派合同)報告書

下記日程、内容で2会派合同視察研修を実施しましたので、報告いたします。

日 時 3月29日(月)～31日(水)

参加者 甲斐市民クラブ 斎藤芳夫、五味武彦、滝川美幸

颯新クラブ 有泉庸一郎、藤原 正夫、小沢重則

研修先 山形県米沢市 DSグリーン発電米沢合同会社 米沢南発電所(3/29)

福島県会津若松市 (株)グリーン発電会津 河東発電所(3/30)

福島県喜多方市 (株)ノーリン 貯木場及びチップ工場(3/30)

新潟県新潟市 (株)バイオパワーステーション新潟 新潟発電所(3/31)

研修目的 甲斐市木質バイオマス発電事業承継事業者のDSグリーン発電甲斐合同会社の主要事業者のグリーンサーマル(株)及び(株)ノーリンの稼働中のバイオマス発電所施設及びバイオマス燃料供給施設状況の調査・研究のため研修を実施した。なお、時節柄、参加議員は全員、事前にPCR検査、訪問時や移動時、宿泊時での3密防止を徹底した。

① 米沢南発電所(1日目)

発電事業者 DSグリーン発電米沢合同会社

運営会社 グリーンサーマル米沢(株)

米沢市 米沢南工業団地内、面積約 34,000 m²、

発電出力 約 6,250kw(一般家庭約1,3万世帯分)

燃料基地 敷地内に貯木場及びチップ工場設置、

営業開始 平成30年1月。稼働日数年間334日

使用燃料 約 60,000t 未利用・一般木質、PKS、建築資材廃棄物

視察・質疑・応答内容

グリーンサーマル(株)滝澤社長、グリーンサーマル米沢(株)山口氏より、ビデオ紹介、質疑・応答のあと、両氏の案内で貯木場・チップ工場・発電施設内の視察を行った。

参加議員と質疑応答及び要望の内容は、経営者の理念、発電事業と開設の背景、地元林業への効果・背景、燃料供給体制、職員組織と業務管理状況、貯木場管理、甲斐市木質バイオマス発電所の今後スケジュール、住民との合意形成方法など。



写真左 発電所全景



右 管理事務所

② 会津 河東発電所（2日目）

発電事業者 (株)グリーン発電会津

会津若松市 河東工業団地内、敷地面積約 10,000 m²

発電出力 5,000kw(一般家庭約1万世帯分)

燃料基地 近郊の喜多方市慶徳地内の貯木場及びチップ工場

使用燃料 約 60、000t

営業開始 平成 24 年7月。

視察内容

30日、(株)グリーン発電会津の斎藤社長(兼務)、グリーン・サーマル(株)の佐藤氏、(株)ノーリンの大竹氏の案内で、発電所・温水利用の隣接の養鯉槽、喜多方市慶徳地内の貯木場及びチップ工場の視察を行った。時間の関係で質疑・応答は31日に実施した。特に養鯉槽は当市の排熱利用例の参考とした。



質疑・応答内容

31 日午前、前記の斎藤社長、佐藤氏、大竹氏により、ビデオ紹介のあと、質疑・応答を行った。発電所については米沢南発電所とほぼ同様な質疑になったが、他、地元雇用の方針や今回の視察目的でもある排熱利用施設の養鯉事業の内容や温室・温水利用方法について、喜多方市の広大な貯木場での貯木量並びに市内複数個所や全国にあるチップ生産量・貯蔵量の能力について、本市に導入予定のチップ粉砕機や騒音問題、各工業団地内での参画環境などの質疑・応答を行った。

③ バイオパワーステーション新潟発電所（3日目）

発電所名 (株)バイオパワーステーション新潟 新潟発電所

新潟市北区太郎代山辺 856、敷地面積 16,300 m²

発電量 5,750kw(一般家庭約1万世帯分)

燃料基地 近郊のチップ工場他

使用燃料 約 60,000t、未利用材・一般材、PKS、リサイクル材

営業開始 平成 28 年9月。

視察・質疑・応答内容

31 日午前、前記の斎藤社長、佐藤氏、大竹氏により、前掲の質疑・応答を行った後、発電所施設、また、補助燃料のPKS(パームヤシ種殻、東南アジアから輸入、新潟東港利用)の基地を視察した。



新潟発電所全景



新潟発電所内質疑・応答

以上 記録 五味 武彦